1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 **UVgel 460 ink Black**

製品コード 1965C041AA, 1965C062AA

他の特定方法

Article Number 1070104731,1070110611

供給者の会社名称，住所及び電話番号

供給元 キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社

住所 港区港南2-13-29キヤノン港南ビル

市 東京都

国 日本

電話番号 03-6719-9700

メールアドレス sds-hq@cpp.canon

緊急連絡電話番号

NCEC Service 0120 015 230 For chemical emergencies only.

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 インクジェットプリンタ用インク。

使用上の制限 その他の用途は推奨されていません。その他の用途は推奨されていません。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。	
健康に対する有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
	皮膚感作性	区分1
	発がん性	区分2
	生殖毒性	区分1B
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分2
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分2

GHS ラベル要素

絵表示

注意喚起語 危険

危険有害性情報 皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。強い眼刺激。発がんのおそれの疑い。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。水生生物に毒性。長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策 取扱い後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 ただちに医師に連絡すること。皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

保管 なし。

廃棄 なし。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性 知見なし。

その他の情報 なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候 重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。

非常事態の概要 発がんのおそれの疑い。強い眼刺激。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。生殖に影響を与えることがある。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号 化審法	官報公示整理番号 安衛法	含有量 (%)
(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	66492-51-1		8-(5)-469	30 - < 60
ポリマー	非公開	非公開	非公開	10 - < 30
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	84170-74-1		2-(6)-1835	5.0 - <10
2-プロペン酸, 1,6-hexanediyl ester, polymer with 2-aminoethanol	67906-98-3			1.0 - < 5.0
エチル= 4 −（ジメチルアミノ）ベンゾアート	10287-53-3	(3)-3788	4-(7)-1374	1.0 - < 5.0
アルコール	非公開	非公開	非公開	1.0 - <3.0
トリメチロールプロパントリアクリレート	15625-89-5	(2)-1010, (2)-958	(2)-1010, (2)-958	1.0 - <3.0
カーボンブラック	1333-86-4	(5)-5222	(5)-5222	1.0 - <2.5
Di-TMPTTA	1393932-71-2			1.0 - <2.5
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	147-14-8	(5)-3299, (5)-3300, (5)-5216	(5)-3299, (5)-3300, (5)-5216	< 1.0
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	13048-33-4	(2)-1007, (2)-958	(2)-1007, (2)-958	< 1.0
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	162881-26-7	(3)-4445		< 1.0

化学式 C10H16O4 (66492-51-1), (C3H6O)n(C3H6O)nC11H16O4 (84170-74-1), C11H15NO2 (10287-53-3), (C12H18O4.C2H7NO)x (67906-98-3), C15H20O6 (15625-89-5), C (1333-86-4), C12-H18-O4 (13048-33-4), C32-H16-Cu-N8 (147-14-8), C26H27O3P (162881-26-7)

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合 汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。発疹。発疹。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。（可能ならばラベルをみせる） 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項　一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　周りの火事を消火できる消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤　火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。

特有の消火方法　危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置　適切な保護具を着用する。

一般的な火災の危険性　異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法　通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置　関係者以外の立ち入りを禁止する。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。ミスト／蒸気の吸入を避けること。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具についてはSDS第8項を参照。

環境に対する注意事項　環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材　水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。バーミキュライト、乾いた砂または土に吸収し、容器に収納する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出： 吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。物質を適切な、ふたとラベルがついた容器に入れてください。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）　適切な換気を行う。

安全取扱注意事項　使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。ミスト／蒸気の吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間のばく露を避ける。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。

接触回避　詳細についてはSDS第10項を参照。

衛生対策　あらゆる医学的監視要件を遵守すること。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

安全な保管条件　施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。

安全な容器包装材料　元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等　標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

日本産業衛生学会－許容濃度

成分	タイプ	数値	形状
カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	TWA	4 mg/m3	総粉塵
		1 mg/m3	吸入性粉塵

米国. ACGIH作業環境許容濃度（TLV）

成分	タイプ	数値	形状
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32 銅 (CAS 147-14-8)	TWA	1 mg/m3	粉塵およびミスト。
		0.2 mg/m3	フューム。
カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	TWA	3 mg/m3	吸入性画分

設備対策 適切な換気を行う。プリンタのオペレータマニュアルまたは安全データシートをご覧ください。

保護具

呼吸用保護具 この商品の通常の用途には必要ありません。

手の保護具 適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。: Ansell Microflex ® 93-260 (240 minutes)

眼，顔面の保護具 接触の可能性がある場合、サイドシールドのついた安全メガネが望ましい。

皮膚及び身体の保護具 特別の保護具は必要ない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体。

形状 液体。

色 黒

臭い 非常に弱い。

融点／凝固点 データなし。

沸点又は初留点及び沸点範囲 データなし

可燃性 該当しない。

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発限界－下限(%) 該当しない

爆発限界－上限(%) 該当しない

引火点 139.0 °C (282.2 °F) 密閉式

自然発火点 300 °C (572 °F)

分解温度 データなし。

pH 該当しない

動粘性率 データなし。

溶解度

溶解度（水） データなし。

n-オクタノール／水分配係数（log 値） データなし。

蒸気圧 <70 ミリバール で 70 C

密度及び／又は相対密度

密度 1.11 g/cm3 で 17 C
1.07 g/cm3 で 70 C

相対密度	データなし。
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。

その他の情報

爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
粘度（粘性率）	> 190 - < 250 mPa·s で 17 C 14.5 mPa·s で 70 C
揮発性有機化合物	3.24 % 2010/75/EU @36°C

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	知見なし。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性 入手可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。

成分	**種**	**試験結果**
(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート (CAS 66492-51-1)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	> 2000 mg/kg
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅 (CAS 147-14-8)		
急性		
経皮		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg, 24 時間
Di-TMPTTA (CAS 1393932-71-2)		
急性		
吸入		
蒸気		
LC50	ラット	> 0.41 mg/l, 7 時間 外挿法
経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg OECD401
経皮		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg, 24 時間
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide (CAS 162881-26-7)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg
経皮		
LD50	ラット	> 2000 ml/kg

成分	種	試験結果
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE (CAS 84170-74-1)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg
経皮		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg, 24 時間
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート (CAS 10287-53-3)		
急性		
経口		
固体		
LD50	ラット	> 2000 mg/kg体重/日
経皮		
固体		
LD50	ウサギ	> 2000 mg/kg体重/日
トリメチロールプロパントリアクリレート (CAS 15625-89-5)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA) (CAS 13048-33-4)		
急性		
経口		
LD50	ラット	> 5000 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	3650 mg/kg, 24 時間

皮膚腐食性／刺激性 皮膚刺激。

刺激性腐食性 - 皮膚

ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD404 結果: 刺激性 種: ウサギ
(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD404 結果: 刺激性 種: ラット
トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD404 結果: 刺激性 種: ラット
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD404 結果: 刺激性でない
カーボンブラック	OECD404 結果: 刺激性でない
Di-TMPTTA	OECD404 結果: 刺激性でない 種: ウサギ
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD404 結果: 刺激性でない 種: ウサギ
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD404 結果: 刺激性でない 種: ウサギ

刺激性腐食性 - 皮膚

29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	結果: 刺激性でない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 強い眼刺激。

刺激性腐食性 - 眼

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 405 結果: 刺激性でない
Di-TMPTTA	OECD405 結果: 刺激性

最高群平均スコア

カーボンブラック	OECD 405 結果: 刺激性でない
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	結果: 刺激性でない

眼

(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	EU B,5 結果: 刺激性でない 種: ウサギ
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD 405 結果: 刺激性 種: ウサギ
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 405 結果: 刺激性でない
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 405 結果: 刺激性でない 種: ウサギ
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD 405 結果: 刺激性でない 種: ウサギ
トリメチロールプロパントリアクリレート	結果: 刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

日本産業衛生学会 - 皮膚感作性物質

ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA) (CAS 13048-33-4)	2 人間に対しておそらく皮膚感作性があると考えられる物質

呼吸器感作性 呼吸器感作性物質でない.

皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

皮膚感作性

29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	OECD 406 結果: 感作しない 種: モルモット
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD 406 結果: 感作しない 種: モルモット
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 406 結果: 感作を起す 種: モルモット
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 406 結果: 感作を起す 種: モルモット
カーボンブラック	OECD 406, GMPT 結果: 感作しない 種: モルモット

皮膚感作性

ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD 406, GMPT 結果: 感作を起す 種: モルモット
Di-TMPTTA	OECD 429 結果: ポジティブ 種: マウス
(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD 429 結果: 感作を起す 厳しさ: EC3=2,8%
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 429 結果: 感作を起す 厳しさ: EC3=4,6%
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	OECD 429, LLNA 結果: 感作しない
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD 429, LLNA 結果: 感作を起す 種: マウス 厳しさ: EC3 = 0,9%
トリメチロールプロパントリアクリレート	結果: 感作を起す 種: 人間
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	結果: 感作を起す 種: 人間

生殖細胞変異原性 本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。

変異原性

(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD 476 結果: 陰性。
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	OECD 476 結果: 陰性。
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 476 結果: 陰性。
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD 476 結果: 陰性。
トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD 476, 試験管内の 結果: 陽性の
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD467 結果: 陰性。
トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD489, 生体内 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ

生殖細胞変異原性:エームス試験

カーボンブラック	OECD 471 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ
Di-TMPTTA	OECD 471 結果: ポジティブ
(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD 471 結果: 陰性。
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	OECD 471 結果: 陰性。
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 471 結果: 陰性。
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 471 結果: 陰性。
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD 471 結果: 陰性。

生殖細胞変異原性:エームス試験

トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD 471, 試験管内の 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD 471, 試験管内の 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ

生殖細胞変異原性:小核

(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD 474 結果: 陰性。
Di-TMPTTA	OECD 474 結果: 陰性。
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD 474 結果: 陰性。 種: マウス
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 474, （類似製品） 結果: 陰性。
トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD 474, 生体内 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ
カーボンブラック	OECD 476 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD487, 試験管内の 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ

生殖細胞変異原性:染色体異常

エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	0, 代謝活性なしに
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	OECD473 結果: 陰性。
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD473 結果: 陰性。
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD473, 代謝活性化を伴う 結果: ポジティブ
トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD473, 試験管内の 結果: 陽性の

発がん性

発がんのおそれの疑い。The IARC evaluated carbon black as a Group 2B carcinogen, for which there is inadequate human evidence, but sufficient animal evidence. The latter is based upon the development of lung tumors in rats receiving chronic inhalation exposure to powdered carbon black at levels that induce particle overload of the lung. However, the amount of inhalation exposure to powdered carbon black is negligible under intended use of this product.

29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ 種: マウス

ACGIH発がん性物質

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)

IARC発がん性評価モノグラフ

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。
トリメチロールプロパントリアクリレート (CAS 15625-89-5)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。

日本産業衛生学会 - 発がん性物質

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。
トリメチロールプロパントリアクリレート (CAS 15625-89-5)	2B ヒトに発がん性の可能性がある。

NTP発がん性物質レポート

カーボンブラック (CAS 1333-86-4)	発がん性があることが知られている物質

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

生殖力

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 421 結果: 陰性。
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD414 結果: 陰性。
トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD422 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ 種: ラット
(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD422 結果: 陰性。
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD422 結果: 陰性。 種: ラット
Di-TMPTTA	OECD422, （類似製品） 結果: 陰性。 種: ラット
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	結果: 陰性。 種: ラット

生殖能力 - 男性

エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD 421 結果: ポジティブ 種: ラット 臓器: 睾丸

生殖能力 - 男性および女性

PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD 421 結果: 陰性。

発達効果

(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD 414 結果: 陰性。 種: ラット
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	OECD 414 結果: 陰性。 種: ラット
トリメチロールプロパントリアクリレート	OECD422 結果: ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞ 種: ラット

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分に該当しない。

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分に該当しない。

29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	0, 28 days oral 結果: 陰性。 種: ラット
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	OECD407 結果: 陰性。 種: ラット
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	OECD422 結果: 陰性。 種: ラット
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	結果: 陰性。 種: ラット 試験期間: 90 D

誤えん有害性 吸引性呼吸器有害性でない。

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分		種	試験結果
(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート (CAS 66492-51-1)			
水生			
急性			
甲殻類	LC50	ミジンコ	20 mg/l, 48 h
藻	EC50	藻	34 mg/l, 72 h
魚類	LC50	魚類	4 mg/l, 96 h
Di-TMPTTA (CAS 1393932-71-2)			
水生			
急性			
魚類	LC50	魚類	1.2 mg/l, 96 h
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide (CAS 162881-26-7)			
水生			
急性			
甲殻類	LC50	ミジンコ	1.1 mg/l, 48 h Supersaturated suspension
藻	EC50	藻	0.26 mg/l, 72 h Supersaturated suspension
魚類	LC50	魚類	> 90 µg/l, 96 h Supersaturated suspension
慢性			
甲殻類	NOEC	甲殻類	8.1 µg/l, 21 D
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE (CAS 84170-74-1)			
水生			
急性			
甲殻類	LC50	ミジンコ	37 mg/l, 48 h
藻	EC50	藻	3.4 mg/l, 72 h
魚類	LC50	魚類	2.7 mg/l, 96 h
エチル= 4 −（ジメチルアミノ）ベンゾアート (CAS 10287-53-3)			
水生			
急性			
甲殻類	LC50	ミジンコ	31.8 mg/l, 48 h
藻	EC50	藻	2.8 mg/l, 72 h
魚類	LC50	魚類	1.9 mg/l, 96 h
トリメチロールプロパントリアクリレート (CAS 15625-89-5)			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	無脊椎動物 (無脊椎動物)	19.9 mg/l, 48 h
藻	EC50	藻	> 4.9 - < 14.5 mg/l, 96 h
魚類	LC50	魚類	0.87 mg/l, 96 h

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

残留性・分解性 <ﾀﾞ>

生分解性

パーセント分解（好気性生物分解）

(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	OECD301B 結果: 28
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	結果: Not biodegradable
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	結果: 本質分解性
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	OECD301B, Not readily biodegradable 結果: 40
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	60 - 70 % OECD310

生体蓄積性 <ﾀﾞ>

生体内蓄積の可能性

オクタノール／水分配係数 log Kow

(5-エチル-1,3-ジオキサン-5-イル)メチル=アクリラート	> 1.9
29H,31H-フタロシアニナト(2-)-N29,N30,N31,N32銅	< 1, Log Kow
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	5.8
PROPOXYLATED NEOPENTYL GLYCOL DIACRYLATE	2.41 - 3.87, Log Kow
トリメチロールプロパントリアクリレート	> 3.3
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	2.81, Log Kow

生物濃縮係数

Di-TMPTTA	388 % v/w
Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	< 5

土壌中の移動性 本製品のデータはない。

吸収

土壌/沈殿物への収着－Log Koc

Phenylbis(2,4,6-trimethylbenzoyl) phosphine-oxide	3.85
エチル＝４－（ジメチルアミノ）ベンゾアート	結果: 2,8
トリメチロールプロパントリアクリレート	2.24
ヘキサメチレンジアクリラート (HDDA)	2.1

オゾン層への有害性 データなし

他の有害影響 その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。

汚染容器及び包装 製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制 廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。内容物／容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number 3082

UN proper shipping name Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. ((5-Ethyl-1,3-dioxan-5-yl)methyl acrylate, TRIMETHYLOLPROPANE TRIACRYLATE)

Transport hazard class(es)

Class 9

Subsidiary hazard -

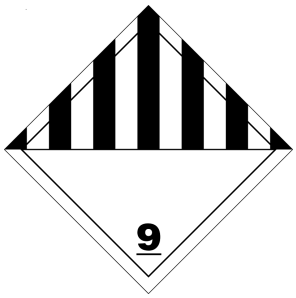
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	9L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

IMDG

UN number	3082
UN proper shipping name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. ((5-Ethyl-1,3-dioxan-5-yl)methyl acrylate, TRIMETHYLOLPROPANE TRIACRYLATE), MARINE POLLUTANT
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary hazard	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-F
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	未確定。
一般情報	IMDGに定める海洋汚染物質。

IATA; IMDG



海洋汚染物質

国内規制	国内輸送については１５項の規制に従うこと。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物（SDS交付及びリスクアセスメント対象物）（政令番号、含有量、施行日）

ー・ー・ーートリメチロールプロパントリアクリル酸エステル	政令番号 404-2	2.7 %	2024/04/01
カーボンブラック	政令番号 130	1.7 %	
銅及びその化合物	政令番号 379	0.47 %	

表示対象物

ー・ー・ーートリメチロールプロパントリアクリル酸エステル	政令番号 404-2	2.7 %
カーボンブラック	政令番号 130	1.7 %

がん原性物質（労働安全衛生規則第577条の２）

該当せず。

SDS交付及びリスクアセスメント義務化候補物質（含有量、施行日）

二アクリル酸ヘキサメチレン	0.36 %	2025/04/01

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

届出不要物質

該当せず。

2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則 有害性物質

航空法・施行規則 その他の有害物質

火薬類取締法

該当せず。

水質汚濁防止法

リン

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices
HSDB® - Hazardous Substances Data Bank
IARC発がん性評価モノグラフ
日本化学工業協会　GHS対応ガイドライン、2019年6月
日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告
JIS Z 7252 : 2019 GHS に基づく化学品の分類方法
JIS Z 7253 : 2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 – ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

この安全データシートの情報は、現在の知見ならびに現行の法規に基づくものであり、かつ、正確であると考えられています。この情報は製品の健康、安全、環境側面に関する指針を提供し、また特異性、技術的性能、あるいは特殊用途のための適合性に対する保証として解釈されることはありません。本製品は、セクション 1 に記載されている以外の目的に使用しないでください。本書はセクション 1 の法域の要求により整えられたものであり、他の国や地域における規制上の要件にあうものとは限りません。本安全データシートに記載されている情報は、安全衛生の適用される法規により要求されているように、使用者自身の職場のリスク評価に代わるものではありません。

改訂情報

危険有害性の要約: 物質または混合物の分類
危険有害性の要約: 危険有害性情報
危険有害性の要約: 安全対策
危険有害性の要約: 応急措置
危険有害性の要約: その他の情報
組成、成分情報: 開示設定の上書き
有害性情報: 急性毒性
有害性情報: 発がん性
適用法令: 使用上の制限
GHS: 分類